

マメノメイガ (bean pod borer)

Maruca vitrata



写真1 マメノメイガの成虫(左上)とアズキの花(左下)、莢を食害する幼虫



写真2 マメノメイガの幼虫に食入されたアズキの莢は、食入口が糞で塞がれている(矢印)ことが多い

発生生態

ガの仲間で、幼虫がアズキ、インゲンマメ等のマメ科作物を加害します。成虫(写真1左上)は体長12mm程度、年3回発生し、幼虫態で越冬します。府内では、アズキで被害がよく見られ、莢(写真1)、葉、花(写真1左下)が食害されます。

防除対策

アズキでは、幼虫が莢内へ食入する(写真2)と、防除効果が劣りますので、開花始めから10日間隔で2~3回、マメノメイガに登録のある殺虫剤を散布することが重要です。また、幼虫に食入された莢は、次世代の発生源となりますので、なるべく除去しましょう。